

真庭市教育委員会 主催
(一社) 岡山県建築士会 受託事業

真庭市指定重要文化財

『目木構』 実測調査業務中間見学会

日時：平成29年3月4日(土) 10:00~12:00

場所：真庭市目木1710 ※駐車スペースに限りがありますので
乗合せてのご来場が可能な方はご協力をお願いします

参加費：無料 (ヘルメットと手袋は持参してください)

予約不要

当日は一般の方も見学されます

目木構(めきがまえ)は真庭市目木にある江戸時代の大庄屋を務めた福島氏の居館跡です。

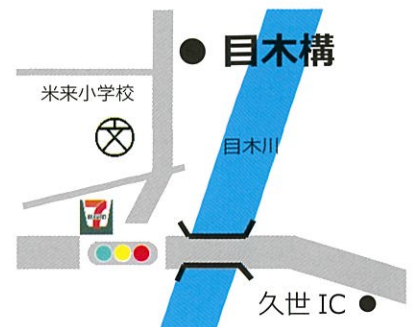
堀に囲まれた約100m四方の区画とその中に残る近世以前の建築群・母屋・長屋門・蔵・土塀等を総称して『目木構』と呼び、真庭市重要文化財に指定されています。

しかし、改修の痕跡が幾重にもあり、元の佇まいが不明確なままとなっています。

平成28年11月より(一社)岡山県建築士会が真庭市からの委託を受け目木構の現状と旧状の実測調査を行っており、今回現況報告を含めた見学会を行います。

実測調査：岡山ヘリテージマネージャー機構(OHMO)

米子自動車道久世ICより5分
セブンイレブン久世インター店を北上し【ささぶき苑】の看板に従い右折すると目木構です



お問い合わせ先 一般社団法人岡山県建築士会 TEL:086-223-6671